

いじめ防止基本方針

令和 7 年 4 月 1 日
多可町立松井小学校

1 いじめ防止基本理念

- いじめは重大な人権侵害であり、人として決して許されない行為である。また、いじめを受けた児童の心身に深刻な影響を及ぼす行為である。これらのことを児童が十分に理解し、すべての児童がいじめを行わず、他の子どもに対して行われるいじめを認識しながら放置することがないようにすることを旨として行われなければならない。
- いじめを受けた児童の生命及び心身を保護することが何より重要であることを認識しつつ、町、学校、家庭、地域その他の関係者の連携の下、町民総がかりでいじめの問題を克服することを目指して行われなければならない。

2 いじめ防止等に関する学校の取組

(1) 学校の方針

本校は、学校教育目標を「自分大好き 友だち大好き 笑顔とあいさつのあふれる松井小学校」と定め、めざす児童像として「あいさつができ たくましく伸びる 松井っ子」をあげている。これらの目標の達成を目指して、すべての児童が有意義で充実した様々な活動に全力で取り組むためには、日々の学校生活が楽しく安心したものでなければならない。そのために、学校は日常の指導体制を整備し、いじめの未然防止・早期発見に取り組むとともに、いじめを認知した場合は、適切かつ速やかに解決するための基本方針として、「多可町立松井小学校いじめ防止基本方針」を定める。

なお、「いじめ防止基本方針」は、ホームページ等で公開し、児童・保護者(家庭)・地域住民からの意見を取り入れられるよう、学校だより等を通じて呼びかける。

また、年度末、あるいは年度途中であったとしても、必要ならばそれを見直すためのPDCAサイクルを盛り込む。

(2) 基本的な考え方

いじめに対しては、すべての教職員が「どの子どもにもどの学級にも起こり得る」ものであるという危機感と、「決して許されない行為である」という強い信念を持って取り組まなければならない。好ましい人間関係を築き、豊かな心を育て、いじめの未然防止、早期発見・対応に向けて、以下の指導体制を構築し、全教職員が同一步調で指導を推進する。

(3) 指導体制・組織

いじめの防止等に関する措置を実効的に行うため、管理職・主幹教諭・養護教諭・複数の教職員によって構成されるいじめ対策委員会を設置する(別表1)。この組織を中心に総合的ないじめ防止対策等を検討・決定し、教職員全員の共通理解の下に指導を推進する。また、必要に応じて関係機関やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールロイヤー等と連携を図り、外部人材を組み入れた教育相談体制の充実を図る。

(4) 具体的取組

①いじめを憎み・お互いを大切にする心の育成

全校集会、学級指導等、あらゆる機会をとらえて、互いを思いやり、自他ともに尊重できる心の育成を図りながら、「いじめをしない」「いじめを許さない(傍観者にならない)」態度を育成する。

そのための児童への指導の一つとして、心の教育総合センターが開発した「いじめ未然防止プログラム」における授業プラン・特別活動プラン等を有効に活用する。

さらには、インターネットの正しい活用法など、情報モラル教育を充実させるとともに、関係機関と連携した指導、児童・保護者への啓発に努める。

また、毎月1日を「いのちと人権の日」と定め啓発を進めるとともに、毎月第1月曜日の全校集会「いのちと人権の集会」を通じて、全児童が「多可町子ども憲章」を唱和すると共に、「命の尊さ」「人権尊重の精神」について考える機会を設ける。また、5月・12月の多可町が定める「いじめ防止啓発月間」には、児童自らがいじめに関する問題を主体的かつ真剣に考えることができる取組や、児童が互いに良好な関係を築くことができる取組を実施する。

②いじめ防止に関する体系的・計画的取組

学校教育活動全体を通じて、いじめ防止に関する多様な取組を体系的・計画的に行うため、包括的な取組の方針、いじめ防止の取組、早期発見の在り方、いじめへの対応に係る教職員の資質能力向上を図る校内研修などの年間計画を定め(別表3)、それに従って取組を実施する。

校内研修においては、いじめ対応マニュアルやいじめ防止基本方針の教職員への周知、いじめの事例研究、「いじめ未然防止プログラム」等の活用など、いじめ防止、早期発見・対応について、教職員の共通理解と対応能力の向上を図る。さらに、教職員が「潜在化しやすいいじめ」も見逃さず、児童の小さな変化を敏感に察知し早期発見するためのチェックリストを定め(別表4)、年間計画に位置づけて児童の状況の把握に努める。

③いじめの未然防止、早期発見・対応のための取組

日々の「児童観察」「教育相談」「連絡帳」の取組や、「学校生活相談シート」の計画的な実施等により、児童の実態を把握し、いじめの未然防止、早期発見を図る。いじめやいじめの疑いに関する情報を把握した場合は、直ちに「いじめ対策委員会」を開催し、迅速にいじめ解決に向けた組織的対応を行う(別表4)。

④教職員の負担軽減に向けた取組

いじめをはじめ、様々な問題行動等の未然防止や早期発見・対応のためには、教職員が心にゆとりを持って児童一人一人と向き合い、日々の教育活動にあたる必要がある。そのために、学校の教育活動を見直し業務改善をさらに進めていく。従来行ってきた行事について、その必要性や教育効果を検討し、行事の精選をさらに進めることで、教職員の負担軽減につなげる。

また、実効性のある業務改善を進めるためには教職員の意識改革が必要不可欠である。教職員自らがタイムマネジメントに努め、効率的な業務遂行の取り組めるよう、業務改善に関する研修を計画・実施する。

⑤いじめ対応の取組評価・改善

いじめに関する学校・教職員の取組状況等を、学校教育評価の評価項目に位置づけ、保護者と教職員の二者アンケート調査の評価結果をもとに、次年度の取組改善に努める。

また、年間1回(3学期末)、学校評議員等の学校関係者から、その評価結果について意見を求め、取組改善に活かす。

(5) いじめに関する「重大事態」

①重大事態の定義

(ア) 「いじめにより児童の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認められるとき」…たとえば、身体に重大な傷害を負った場合、所持品等で重大な被害を被った場合、長期にわたる仲間はずれ等により精神性の疾患を発症した場合などがそれに値する。いじめを受けている児童の状況で判断する。

(イ) 「いじめにより児童が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき」…「相当の期間」については、不登校の定義を踏まえ、年間30日を目安とする。ただし、児童が一定期間、連続して欠席しているような場合には、30日に満たない場合においても、迅速に調査に着手することが必要である。

②調査主体

重大事態が発生した場合、直ちに多可町教育委員会に報告し、いじめの調査を実施する。調査主体は、多可町教育委員会または学校となる[多可町教育委員会が調査主体となる場合は、「多可町いじめ防止基本方針(平成29年10月改訂)」参照]。

学校が主体となる場合は、多可町教育委員会からの指導・支援を受けながら、必要に応じて関係機関やスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等と連携を図り、外部人材を組み入れた生活指導体制(いじめ対応チーム)を組織編成し、調査目的に沿って、次の3点を中心に、いじめの調査、事態の解決にあたる。

③調査の実施

(ア)調査する際の注意と目的

因果関係の特定を急がず、客観的な事実関係を速やかに調査する。調査の結果得られた事実と向き合いながら、当該事態の適切な対処方法を考え実施すること、さらに、同種の事態の発生防止を図ることを目的とする。

(イ)事実関係の明確化

次の3点を中心に、客観的な事実関係を速やかに調査する。

- いじめ行為が、いつ、誰から、どのような態様で行われたか
- いじめの背景や人間関係にどのような問題があったか
- 学校・教職員がどのように対応したか

④調査結果の報告

調査により明らかになった事実関係について、いじめを受けた児童生徒や

その保護者に対して適時・適切な方法で、経過報告に努める。この際、他の児童生徒のプライバシー保護など、関係者の個人情報に十分な配慮を要するが、個人情報保護を理由として説明責任を怠ることがないようにする。

3 その他の事項

平成26年4月に「松井小学校いじめ防止基本方針」を作成したが、「多可町いじめ防止基本方針」の改訂(平成29年10月)に伴って改訂作業を行った。また、令和2年4月の「多可町いじめ防止対策改善基本計画」の策定を受け、改訂作業を行った。さらに、令和4年度末にあたり、これまでの取組を振り返り、改訂作業を実施した。

いじめ防止等については、保護者(家庭)・地域とともに取り組む必要があるため、策定した学校の基本方針については、ホームページなどで公開し、保護者(家庭)や地域に周知されるように努める。また、いじめ防止等に実効性の高い取組を実施するため、基本方針が、学校の実情に即して効果的に機能しているかについて、「いじめ対応チーム」を中心に点検し、今後とも、必要に応じて見直していきたい。学校の基本方針を見直す際に、学校全体でいじめの防止等に取り組む観点から、児童の意見を取り入れるなど、いじめの防止等について児童の主体的かつ積極的な参加が確保できるよう留意する。また、地域を巻き込んだ学校の基本方針になるように、保護者(家庭)・地域住民からの意見を積極的に聴取することにも留意する。

【別 表】 日常の指導体制(別表1)

年間指導計画(別表2)

いじめ早期発見のためのチェックリスト(別表3)

組織的対応(別表4)